

PRPφ200管渠工集計表

(補助)

令和7年度 南国市後免町

工 種		単位	パネル	素掘り	矢板	計	備考	
人孔間距離		m			99.4	99.4		
管布設工		m			97.1	97.1		
管材料	片受直管	本			24	24.0		
	可とう性継手	個						
	MR受口継手	個						
	VU変換継手	個						
土留め工	簡易パネル	2.0	m					
		2.5	m					
		3.0	m					
		3.5	m					
		4.0	m					
	軽量鋼矢板	2.0	m			1.9	1.9	
		2.5	m			97.5	97.5	
		3.0	m					
		3.5	m					
		4.0	m					
	支保工	1段(2.0)	m			1.9	1.9	
		2段(3.0)	m			97.5	97.5	
		2段(3.5)	m					
		3段(4.0)	m					
土工	機械掘削工	人力 2t	m ³					
		0.10BH 2t	m ³					
		0.20BH 2t	m ³					
		0.20BH 4t	m ³			185.0		
		0.35BH 4t	m ³					
	管基礎工	人力	m ³					
		0.10BH	m ³					
		0.20BH	m ³			35.1		
		0.35BH	m ³					
	埋戻し工	人力	m ³					
		0.10BH	m ³					
		0.20BH	m ³			138.4		
		0.35BH	m ³					

DCIPφ75管渠工集計表

(補助)

令和7年度 南国市後免町

工 種		単位	素掘り		計	備考	
人孔間距離		m	5.5		5.5		
管布設工		m					
土留め工	簡易パネル	2.0	m				
		2.5	m				
		3.0	m				
		3.5	m				
		4.0	m				
	軽量鋼矢板	2.0	m				
		2.5	m				
		3.0	m				
		3.5	m				
		4.0	m				
	支保工	1段(2.0)	m				
		2段(3.0)	m				
		2段(3.5)	m				
3段(4.0)		m					
土工	機械掘削工	人力 2t	m ³				
		0.10BH 2t	m ³				
		0.20BH 2t	m ³	4.1		4.1	
		0.20BH 4t	m ³				
		0.35BH 4t	m ³				
	管基礎工	人力	m ³				
		0.10BH	m ³				
		0.20BH	m ³	0.9		0.9	
		0.35BH	m ³				
	埋戻し工	人力	m ³				
		0.10BH	m ³				
		0.20BH	m ³	3.0		3.0	
		0.35BH	m ³				

路線名	人孔番号 起点 終点	中心間延長 L2	掘削幅 B	平均掘削深 H	現況舗装版厚 T	機械掘削工(V)					管体積 F= C*L2 C=	舗装復旧残土 A=E*(舗装厚+上層路盤厚)					管基礎工				埋戻工				舗装版切断工				舗装機械種別	仮復旧面積 E= L2*B
						L2*B*(H-T)						市道		国・県道		市道		砂基礎		再生砕石				L3=L2×2						
						バックホウ(BH) ダンプトラック(DT)						市道	国・県道	市道	市道	管上	管下	H=L2*B*H-(F+A+G)				舗装版厚(m)								
						人力	0.10	0.20	0.20	0.35		AS(1層)	AS(2層)	CO	舗装なし	G=L2*B*(管上+管外径+管下)-F	バックホウ(BH)				バックホウ(BH)									
2t	2t	2t	4t	4t	0.15	0.35		0.03	0.10	人力	0.10	0.20	0.35	人力	0.10	0.20	0.35	0.2	0.3	0.35	0.4	掘削								
線		m	m	m	m	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m	m	m	m	m	ダンプ	m²		
3271-2	3271-2-1 3271-1-1	1.9	0.95	1.80	0.05				3.2	0.06	0.2							0.7			2.3						0.20BH 4tDT	1.8		
3271-1	3271-1-1 3271-1-2	54.5	0.95	1.96	0.05				98.9	1.8	7.7							19.2			73.8						0.20BH 4tDT	51.8		
3305	3271-1-2 3305-1	43.0	0.95	2.08	0.05				82.9	1.4	6.1							15.2			62.3						0.20BH 4tDT	40.9		
計		99.4							185.0									35.1			138.4							94.5		

仮舗装機械種別	BH	人力	0.1	0.2	0.2	0.35
	DT	2t	2t	2t	4t	4t
面積小計(m²)					94.5	

DCIP φ 75mm 管布設工 (素掘り)

- 土工 -

掘削幅 下幅 0.6 m (上幅は各スパンごとで異なる場合があります)
上幅(加重平均) 0.85

令和7年度 南国市後免町

路線名	人孔番号 起点 終点	中心間延長 L2= L-L'	掘削幅 上幅 下幅	1m当り施工量				機械掘削工(V)					管基礎工				埋戻工				舗装版切断工					舗装機械種別	仮復旧面積 E= L2*B	上層路盤工
				掘削量	砂基礎 0.006	碎石埋戻	上層路盤	延長×m当り掘削量					延長×m当り基礎				延長×m当り碎石埋戻量				舗装版厚(m)							
								バックホウ(BH) ダンプトラック(DT)					延長×m当り基礎				延長×m当り碎石埋戻量				舗装版厚(m)							
								人力	0.10	0.20	0.20	0.35	人力	0.10	0.20	0.35	人力	0.10	0.20	0.35	0.2	0.2~	0.3	0.35~	0.4			
2t	2t	2t	4t	4t	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m	m	m	m	m	掘削	m²	m²				
3271-2	3272-1 3271-2-1	5.5	0.85 0.60	0.75	0.17	0.56	0.82																	0.20BH 2tDT	4.6	4.5		
計		5.5							4.1																4.6	4.5		

仮舗装機械種別	BH	人力	0.1	0.2	0.2	0.35
	DT	2t	2t	2t	4t	4t
面積集計(m²)				4.6		

1号組立マンホール集計表

(補助)

令和7年度 南国市後免町

種 目	規 格	単 位		備 考
1号組立マンホール設置工		箇所	1	
平均人孔深		m	1.922	
人孔材料				
底版		個	1	
躯体ブロック	H=600	個		
	H=900	個		
	H=1200	個		
	H=1500	個	1	
	H=1800	個		
直壁ブロック	H=300	個		
	H=600	個		
	H=900	個		
	H=1200	個		
	H=1500	個		
	H=1800	個		
斜壁ブロック	H=300	個		
	H=450	個	1	
	H=600	個		
調整リング	H=50	個		
	H=100	個		
	H=150	個		
調整材料	2.5cm	個		
	4.5cm	個	1	
鉄蓋、受枠	T-14	組		
	T-25	組	1	
副管工	外副管150	箇所		
	外副管100	箇所		
	内副管150	箇所		
	内副管100	箇所		
既設人孔接続	φ 200	箇所		
	φ 150	箇所		
削孔	PRP φ 200	箇所	1	
	HP φ 300	箇所		
	PE φ 75	箇所		

2号組立マンホール集計表

(補助)

令和7年度 南国市後免町

種 目	規 格	単 位	数 量	備 考
2号組立マンホール設置工		箇所	1	
平均人孔深		m	3.141	
人孔材料				
底版		個	1	
躯体ブロック	H=900	個	1	
	H=1200	個		
	H=1500	個		
	H=1800	個		
	H=2100	個		
直壁ブロック	H=300	個		
	H=600	個		
	H=900	個		
	H=1200	個		
	H=1500	個	1	
	H=1800	個		
斜壁ブロック (φ900-φ1200)	H=300	個	1	
	H=450	個		
調整リング(φ900)	H=600	個		
	H=50	個		
	H=100	個		
調整材料	H=150	個	1	
	2.5cm	個	1	
	4.5cm	個		
親子鉄蓋(φ900)、受枠	T-14	組		
	T-25	組	1	
副管工	外副管150	箇所		
	外副管100	箇所		
	内副管150	箇所		
	内副管100	箇所		
削孔	PRP φ 200	箇所	1	
	VU φ 150	箇所		
	DCIP φ 75	箇所		

塩ビ製小口径人孔集計表

(補助)

令和7年度 南国市後免町

種 目	規 格	単 位	数 量			備 考
			本管φ200	本管φ150	合計	
人孔(φ300)設置工	塩ビ製	箇所	1		1	
平均人孔深		m	1.697		1.697	
人孔材料						
躯体(中間用)	起点	個				
	ストレート	個				
	15度	個	1		1	
	30度	個				
	45度	個				
	60度	個				
	75度	個				
	90度	個				
躯体(合流用)	ドロップ	個				
	90度	個				
	90度片側	個				
	左右合流	個				
	マルチ	個				
人孔蓋材料	防護ハット	個	1		1	
	台座	個	1		1	
	止水内蓋	個	1		1	
直管、継手材料	プレーンエンド直管	m	1.3		1.3	
	カラー	個				φ200
	〃	個				φ150
	キャップ	個				φ200
	〃	個				φ150
	異形継手	個				φ200-φ150
	〃	個				φ150-φ100
	90度支管	個				φ200-φ200
	〃	個				φ200-φ150

楢田組立マンホール集計表

(補助)

令和7年度 南国市後免町

種 目	規 格	単 位	数 量	備 考
楢田組立マンホール設置工		箇所	1	
平均人孔深		m	2.028	
人孔材料				
底版		個	1	
躯体ブロック	H=600	個		
	H=900	個	1	
	H=1200	個	1	
	H=1500	個		
	H=1800	個		
直壁ブロック	H=300	個		
	H=600	個	1	
	H=900	個		
	H=1200	個		
	H=1500	個		
	H=1800	個		
斜壁ブロック	H=300	個		
	H=450	個	1	
	H=600	個	1	
調整リング	H=50	個		
	H=100	個	2	
	H=150	個		
調整材料	2.5cm	個	1	
	4.5cm	個		
鉄蓋、受枠	T-14	組		
	T-25	組	1	
副管工	外副管150	箇所		
	外副管100	箇所		
	内副管150	箇所		
	内副管100	箇所		
既設人孔接続	φ 200	箇所		
	φ 150	箇所		
削孔	PRP φ 200	箇所	1	
	PRP φ 150	箇所		

2号組立マンホール数量表(マンホールポンプ)

N = 1 基

令和7年度 南国市後免町

路線 番号	人孔 番号	人孔 深 H	ブ ロ ッ ク 高 H+	鉄蓋 親子蓋 φ900		底 版	躯体ブロック					直 壁				斜 壁 φ900-φ1200			調 整 リング φ900			調 整 材料		副管工		既設 人孔 接続	流入管削孔											
				12			高さ(cm)					高さ(cm)				高さ(cm)			高さ(cm)		外 副 管	内 副 管	管種,管径															
				T-14	T-25		90	120	150	180	210	30	60	90	120	150	180	30	45	60			5	10	15		2.5	4.5	150	100	150	100	200	150	PRP 200	VU 150	DCIP 75	
				組	組		個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個		個	箇所	箇所									
線	No.	m	m			個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所						
3271-2	3271-2-1	1.691	3.141		1	1	1									1						1	1									1						
計		1.691	3.141		1	1	1									1																				1		

塩ビ製小口径マンホール数量表(立上300-流入200-流出200)

路線名	人孔番号	人孔深 m	人孔蓋			躯体															直管,継手等						
			防護ハット 150 個	台座 個	止水内蓋 個	起 点 用 360 個	中間用							合流用					その他			プ レ ー ン エ ン ド 管 VU200 m	カ ラ ー 150 個	キ ャ ッ プ 150 個	異 径 継 手 個	9 0 度 支 管 150 個	
							ス ト レ ー ト 300 個	1 5 度 300 個	3 0 度 300 個	4 5 度 300 個	6 0 度 300 個	7 5 度 300 個	9 0 度 300 個	ド ロ ッ プ 個	9 0 度 個	9 0 度 片 側 個	左 右 合 流 個	マ ル チ 個	個	個	個						
							個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個						個
3271-1	3271-1-1	1.697	1	1	1		1															1.297					
小計		1.697	1	1	1		1															1.3					
合計		1.697	1	1	1		1															1.3					

舗装工集計表①

令和7年度 南国市後免町

工種	形状寸法	単位	数量	備考	
舗装版撤去工	As舗装版切断(実掘)	t=0.20m迄	m	199	
	Co舗装版切断(実掘)	t=0.20m迄	m		
	As舗装版直接掘削(実掘)	0.35BH 10cm以下	m ²		
	As舗装版直接掘削(実掘)	0.20BH 10cm以下	m ²	95	
	As舗装版直接掘削(実掘)	0.10BH 10cm以下	m ²		
	As舗装版直接掘削(実掘)	人力 10cm以下	m ²		
	Co舗装版直接掘削(実掘)	人力 10cm以下	m ²		
	As殻処分工(DID有)	0.35BH 4tDT	m ³		
	As殻処分工(DID有)	0.20BH 4tDT	m ³	5	
	As殻処分工(DID有)	0.10BH 2tDT	m ³		
	As殻処分工(DID有)	人力 2tDT	m ³		
	Co殻処分工(DID有)	人力 2tDT	m ³		
上層路盤工	上層路盤工(実掘)	t=0.12m	m ²	95	市道-車道
	上層路盤工(実掘)	t=0.17m	m ²		
	上層路盤工(実掘)	t=0.10m	m ²		
			m ²		
下層路盤工	下層路盤工(実掘)	t=0.15m	m ²		
仮復旧工	表層工人力施工(実掘)	t=0.03m	m ²	95	市道-車道
	表層工人力施工(実掘)	t=0.03m	m ²		
			m ²		
			m ²		

舗装工集計表②

令和7年度 南国市後免町

工 種		形状寸法	単位	数 量	備 考	
舗 装 本 復 旧 工	車 道	As舗装版切断	t=0.20m迄	m		
		Co舗装版切断	t=0.20m迄	m		
		As舗装版直接掘削(全体)	0.35BH,10cm以下	m ²		
		As舗装版直接掘削(全体)	0.20BH,10cm以下	m ²	314	
		As舗装版直接掘削(全体)	0.10BH,10cm以下	m ²		
		As舗装版直接掘削(全体)	人力,10cm以下	m ²		
		Co舗装版直接掘削(全体)	0.10BH,10cm以下	m ²		
		As殻処分工(DID有)	0.35BH 4tDT	m ³		
		As殻処分工(DID有)	0.20BH 4tDT	m ³	14	
		As殻処分工(DID有)	0.10BH 2tDT	m ³		
		Co殻処分工(DID有)	0.10BH 2tDT	m ³		
		すき取りおよび処分工	0.10BH 2tDT	m ³		
		不陸整正		m ²	314	

数量計算書 ②

令和7年度

		工種・細目	算 式	数量	計上数量	単位
舗 装 車 本 道 復 旧 工	舗 装 車 本 道 復 旧 工	As舗装版切断 t=0.20m迄	図より			m
		Co舗装版切断 t=0.20m迄				m
		As舗装版直接掘削(全体) 0.35BH,10cm以下	舗装求積表より			m ²
		As舗装版直接掘削(全体) 0.20BH,10cm以下	舗装求積表より	314.35	314	m ²
		As舗装版直接掘削(全体) 0.10BH,10cm以下	舗装求積表より			m ²
		As舗装版直接掘削(全体) 人力,10cm以下				m ²
		Co舗装版直接掘削(全体) 0.10BH,10cm以下				m ²
		As殻処分工(DID有) 0.35BH 4tDT	国・県道-車道 仮復旧 × 0.05 + (国・県道-車道 全体 仮復旧) × 0.05			m ³
		As殻処分工(DID有) 0.20BH 4tDT	市道 仮復旧 × 0.03 + (市道 全体 仮復旧) × 0.05	13.84	14	m ³
		As殻処分工(DID有) 0.10BH 2tDT	市道-As 仮復旧 × 0.03 + (市道 全体 仮復旧As 仮復旧Co) × 0.05			m ³
		Co殻処分工(DID有) 0.10BH 2tDT	市道-Co 全体 仮復旧 (市道 全体 仮復旧) × 0.10			m ³
		すき取りおよび処分工 0.10BH 2tDT	市道-Co 仮復旧 × 0.07			m ³
		不陸整正	全体 314.35 + +	314.35	314	m ²

数量計算書 ③

令和7年度

		工種・細目	算式	数量	計上数量	単位
舗装 本 復 旧 工	市 道	表層工 t=5cm b<1.4	舗装求積表より			m ²
		表層工 t=5cm 1.4≤b≤3.0	舗装求積表より	314.35	314	
	(A s)					m ²
		表層工 t=5cm 3.0<b	舗装求積表より			m ²
	国・ 県 道 (車 道)	表層工 t=5cm b<1.4	舗装求積表より			m ²
		表層工 t=5cm 1.4≤b≤3.0	舗装求積表より			m ²
		表層工 t=5cm 3.0<b	舗装求積表より			m ²
	市 道 (C o)	表層工 t=4cm b<1.4	舗装求積表より			m ²
		表層工 t=4cm 1.4≤b≤3.0	舗装求積表より			m ²
		表層工 t=4cm 3.0<b	舗装求積表より			m ²
上 層 路 盤 工					m ²	
					m ²	

(補助)

舗装求積表 市道部(As t=5cm)

番号	底辺	垂線	倍面積
1	3.8	1.5	5.70
2	4.6	1.6	7.36
3	4.6	2.5	11.50
4	12.5	2.8	35.00
5	12.5	2.8	35.00
6	10.6	2.5	26.50
7	10.6	2.4	25.44
8	12.8	2.7	34.56
9	12.8	2.3	29.44
10	15.6	2.5	39.00
11	15.6	2.8	43.68
12	5.7	2.4	13.68
13	5.7	2.4	13.68
14	10.8	2.7	29.16
15	10.8	2.7	29.16
16	20.8	2.9	60.32
17	20.8	2.9	60.32
18	7.6	2.8	21.28
19	7.6	2.8	21.28
20	8.5	3.1	26.35
21	8.5	2.9	24.65
22	5.4	3.3	17.82
23	5.4	3.3	17.82
倍面積合計			628.70
舗装面積			314.35

工種	算定式	数量
管路工 グラウト管 (GX形 φ75)		
[資材]		
直管 L=4.00m (切管用 S種管)	N = GX形グラウト管切管表より 1	
直管 L=4.00m (S種管)	N = + + + 切管用 1	1 本
曲管 11 1/4°	N = 圧送管配管図より	1 個
両受曲管 45°	N = 圧送管配管図より	1 個
短管1号	N = 圧送管配管図より	1 個
伸縮可とう管 L=350	N = 圧送管配管図より	1 個
GX ライフ	N = 圧送管配管図より	1 個
GX Gリンク	N = 圧送管配管図より	1 個
GX 異形管受口材料	N =	2 組
フラジ継手材料 (φ75 GF)	N = 圧送管配管図より	2 組
鋼管 [資材]	N =	1 本
両フランジ直管 φ80 SUS304 Sch20s L=720mm		
[労務]	圧送管配管図より	
鋳鉄管据付工 (機械力 φ75)	L = 4.180 = 4.180	4.180 m
鋳鉄管切断工 (φ75)	N = GX形グラウト管切管表より	2 口
GX継手工 (φ75 直管)	N = 圧送管配管図より	1 口
GX継手工 (φ75異形管)	N = 圧送管配管図より	2 口
GX継手工 (φ75 Gリンク)	N = 圧送管配管図より	1 口
フラジ継手工 (φ75)	N = 圧送管配管図より	2 口
伸縮可とう管設置工	N = 圧送管配管図より	1 基
鋼管布設工 (φ80)	L = 0.720 = 0.720	0.720 m
[資材・労務] 埋設表示シート工	L = 4.180	4.180 m

GX形ダクタイル鑄鉄管切管表

管種 GX φ75mm 管 長 4.00 m

番号	甲切管	乙 切 管			残管長 (m)	切断工 (口)	切 管 用 溝切加工 (口)	切管用 挿リング (ヶ)	ロックンク (ヶ)
		1	2	3					
1	GX - 2.487	GX 0.792			0.721	2	0	0	0
合計	切管用DGX φ75mm(S種管)必要本数 1 本				0.721	2	0	0	0

工 種	3271-2-1 マンホールポンプ立坑		LPφ1700	数量計算書	
名 称	規 格	算 式		数 量	
覆工部面積		$A1 = 2.160 \times 3.160$	= 6.826		
立坑面積		$A2 = \pi/4 \times 1.700^2$	= 2.270		
がけコンクリート外側面積		$A3 = \pi/4 \times 2.300^2$	= 4.155		
掘 削	BH0.20m ³	$6.826 \times (0.550 - 0.050)$	= 3.41		
		$4.155 \times (0.800 - 0.550)$	= 1.04		
			計 4.45		4.5 m ³
ライナープレート掘削土留工	人力	砂質土・粘性土 1.590 - 0.800	= 0.790		0.790 m
	人力	礫質土 1.731	= 1.731		1.731 m
		軟岩	= 0.000		0.000 m
			計 2.521		
(掘削土量)	人力	$4.45 + 2.270 \times (2.521 -)$	= 10.17		
埋 戻	モルタル				
	埋戻し量	$2.270 \times (2.000 - 0.180)$	= 4.13		
	控除 底版	$\blacktriangle \pi/4 \times 1.460^2 \times 0.150$	= -0.25		
	直壁	$\blacktriangle \pi/4 \times 1.400^2 \times 1.670$	= -2.57		
			計 1.31		1.3 m ³
	砕石				
	立坑部埋戻し高	$1.321 - 0.700$	= 0.621 m		
	埋戻し量	2.270×0.621	= 1.41		
	控除 直壁	$\blacktriangle \pi/4 \times 1.400^2 \times 0.621$	= -0.96		
	がけコン埋戻し高	$0.700 - 0.400$	= 0.300 m		
	埋戻し量	4.155×0.300	= 1.25		
	控除 斜壁	$\blacktriangle \pi/4 \times (1.400^2 + 0.820^2) / 2$			
			$\times 0.300$	= -0.31	
	覆工部埋戻し高	$0.400 - 0.150$	= 0.250 m		
	埋戻し量	6.826×0.250	= 1.71		
	控除 調整	$\blacktriangle \pi/4 \times 1.140^2 \times 0.250$	= -0.26		
			計 2.84		2.8 m ³

名 称	規 格	算 式	数 量
残土処分		= 10.17	10.2 m ³
ガレキコンクリート工			
コンクリート	σck=18N・人力	(4.155 - 2.270) × 0.300	= 0.566 0.57 m ³
型 枠	均し基礎	π × 2.000 × 0.300	= 1.885 1.89 m ³
	砕石	t=10cm 4.155 - 2.270	= 1.885 1.89 m ²
グラウト工		0.09 × π × (1.700 + 0.09)	
		× 2.521	= 1.276 1.28 m ³
基 礎	砕石	t=15cm	= 2.270 2.27 m ²
ライナープレート 撤去工	φ 1700mm	H= 1.000	= 1.000 1.00 m
	切断	L=	= m
ライナープレート	t=2.7mm		3.00 m
φ 1700	t=3.2mm		m
	t=4.0mm		m
	t=4.5mm		m
スクラップ	撤去部	π × 1.700 × 1.000	= 5.341 m ²
	鏡切部 (PRP200)	π/4 × (0.270 + 0.100) ² × 1	= 0.108 m ²
		計	5.449
	t=2.7mm	5.449 × 36.1 kg/m ²	= 0.197
	ライナープレート t=1~3mm	計	0.197 0.20 t
覆工板・受桁設置撤去工			
覆 工 板	700m2以下	2.000 × 3.000	= 6.000 6.00 m ²
	鋼材重量	200kg/m2 × 6.000	= 1.200 1.20 t
受 桁	受桁 H-200×200	55kg/m × 2.160 × 2	= 0.238 0.24 t
	桁受		
	ズレ止め [-200×80	24.6kg/m × (3.160 × 2 + 2.000 × 2)	= 0.254 0.25 t
	桁材計		0.49 t
砕石基礎工	RC-40、t=15cm	2.160 × 0.300 × 2	= 1.296 1.30 m ²

ライナープレート重量	直径	D=	=	1.700	m	
	版厚	t=	=	2.7	mm	
	周長	L= $\pi \times 1.70$	=	5.341	m	
	ピッチ数	N= $5.341 \div 0.157$	=	34	ピッチ	
	1リング当りライナープレート使用量					
	P-10	1	枚			
	P-8	3	枚			
	P-6	0	枚			
	1.0m当りボルト使用量					
	N=	$(2 + 6 + 0) \times 4 + 34 \times 2$	=	100	本	
	1.0m当りライナープレート重量					
	ボルト	100	\times	0.137	=	14
	P-10	2	\times	26.0	=	52
	P-8	6	\times	21.1	=	127
	P-6	0	\times	16.2	=	0
合計				=	193 kg/m	
1.0m2当りライナープレート重量						
	193	\div	5.341	=	36.1 kg/m2	

ライナープレート重量(黒皮) kg/枚							
板厚	2.7	3.2	4.0	4.5	5.3	6.0	7.0
P-10	26.0	30.9	38.4	43.3	50.9	57.6	67.8
P-8	21.1	25.0	31.1	35.1	41.2	46.7	55.0
P-6	16.2	19.2	23.8	26.9	31.6	35.8	42.3
組立ボルト	0.137	0.137	0.144	0.144	0.158	0.158	0.158

軽量鋼矢板土留工（12m転用）

軽量鋼矢板Ⅱ型 L= 2.5 m （支保段数 2段）

R6.下水道用設計標準歩掛表

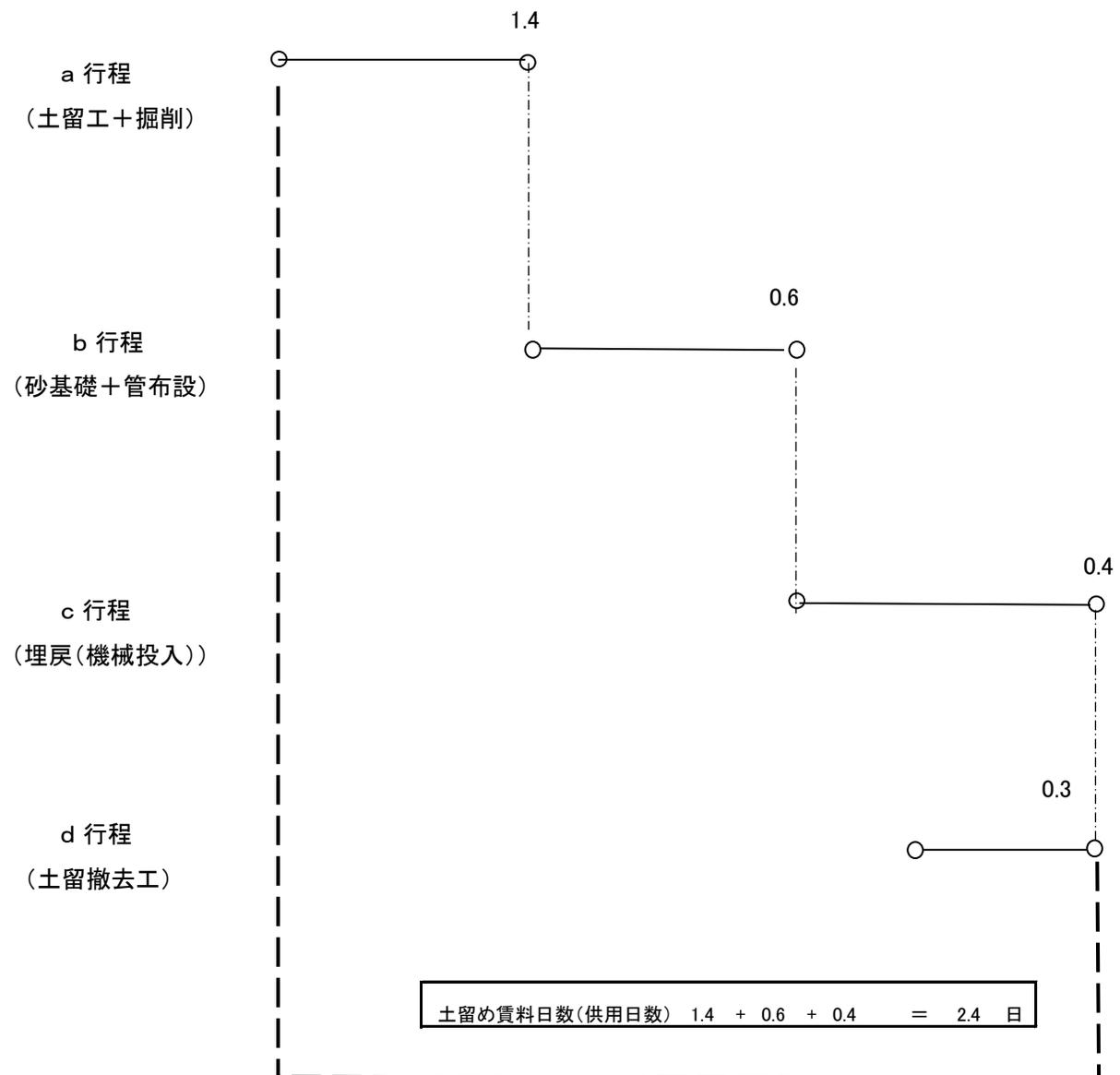
掘削幅	0.95	m
延長	97.50	m
掘削土量	181.80	m ³
砂基礎工（管路埋戻工の歩掛適用）	34.40	m ³
埋戻土量	136.10	m ³
布設管	リブ管 φ 200	mm
バックホウ規格	0.28	m ³
雨天休日率	1.70	
転用m数	12.00	m
トラッククレーン規格	4.8~4.9t	吊
バックホウ(0.28m ³)の1日当り掘削土量	D=	59.00 m ³ /日
バックホウ(0.28m ³)の1日当り埋戻土量	D=	85.00 m ³ /日
1日当り埋戻土量(タンパ転圧)	D=	33.00 m ³ /日

日 数 計 算 (1スパン12m)

種 別	工 種	計 算 式	実日数	供用日数 (×1.7)
a 行程	軽量鋼矢板 (建 込)	100.00 m ÷ 2.4 人 = 42 m/日 12.00 m ÷ 42 m/日 = 0.29 日	0.82	1.4 日
	支保工設置工 (腹 起)	100.00 m ÷ 0.8 人 = 125 m/日 12.00 m ÷ 125 m/日 = 0.1 日		
	支保工設置工 (切 梁)	100.00 m ÷ 0.4 人 = 250 m/日 12.00 m ÷ 250.00 m/日 = 0.05 日		
	掘 削	181.80 m ³ ÷ 97.50 m × 12.00 m = 22.38 m ³ 22.38 m ³ ÷ 59.00 m ³ /日 = 0.38 日		
	土留工+掘削	0.29 日 + 0.10 日 + 0.05 日 + 0.38 日 = 0.82 日		
b 行程	砂基礎工 (機械投入) (転圧作業)	34.40 m ³ ÷ 97.50 m × 12.00 m = 4.23 m ³ 4.23 m ³ ÷ 85.00 m ³ /日 = 0.05 日 34.40 m ³ ÷ 97.50 m × 12.00 m = 4.23 m ³ 4.23 m ³ ÷ (33.0 m ³ /日 × 2 台) = 0.06 日	0.33	0.6 日
	管 布 設 工	10.00 m ÷ 0.23 人 = 44 m/日 12.00 m ÷ 44 m/日 = 0.27 日		
	砂基礎+管布設	0.06 日 + 0.27 日 = 0.33 日		
c 行程	埋 戻 工 (機械投入) (転圧作業)	136.10 m ³ ÷ 97.50 m × 12.00 m = 16.75 m ³ 16.75 m ³ ÷ 85.00 m ³ /日 = 0.2 日 136.10 m ³ ÷ 97.50 m × 12.00 m = 16.75 m ³ 16.75 m ³ ÷ (33.00 m ³ /日 × 2 台) = 0.25 日	0.25	0.4 日
d 行程	軽量鋼矢板 (撤 去)	100.00 m ÷ 0.9 人 = 112 m/日 12.00 m ÷ 112.00 m/日 = 0.11 日	0.20	0.3 日
	支保工撤去工 (腹 起)	100.00 m ÷ 0.3 人 = 334 m/日 12.00 m ÷ 334 m/日 = 0.04 日		
	支保工撤去工 (切 梁)	100.00 m ÷ 0.4 人 = 250 m/日 12.00 m ÷ 250 m/日 = 0.05 日		
	土 留 工	0.11 日 + 0.04 日 + 0.05 日 = 0.20 日		

- ※ a 行程 : 土留工+掘削とする。
 b 行程 : 転圧機械(タンパ)を2台使用する。
 c 行程 : 転圧機械(タンパ)を2台使用する。
 機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。
 d 行程 : b行程が終了して開始とする。

工 程 表



軽量鋼矢板土留工（12m転用）

軽量鋼矢板 I 型 L= 2.0 m （支保段数 1段）

掘削幅	0.95	m
延長	1.90	m
掘削土量	3.20	m ³
砂基礎工（管路埋戻工の歩掛適用）	0.70	m ³
埋戻土量	2.30	m ³
布設管	リブ管 φ	200 mm
バックホウ規格	0.28	m ³
雨天休日率	1.70	
転用m数	12.00	m
トラッククレーン規格	4.8~4.9t	吊
バックホウ(0.28m ³)の1日当り掘削土量	D=	59.00 m ³ /日
バックホウ(0.28m ³)の1日当り埋戻土量	D=	85.00 m ³ /日
1日当り埋戻土量(タンパ転圧)	D=	33.00 m ³ /日

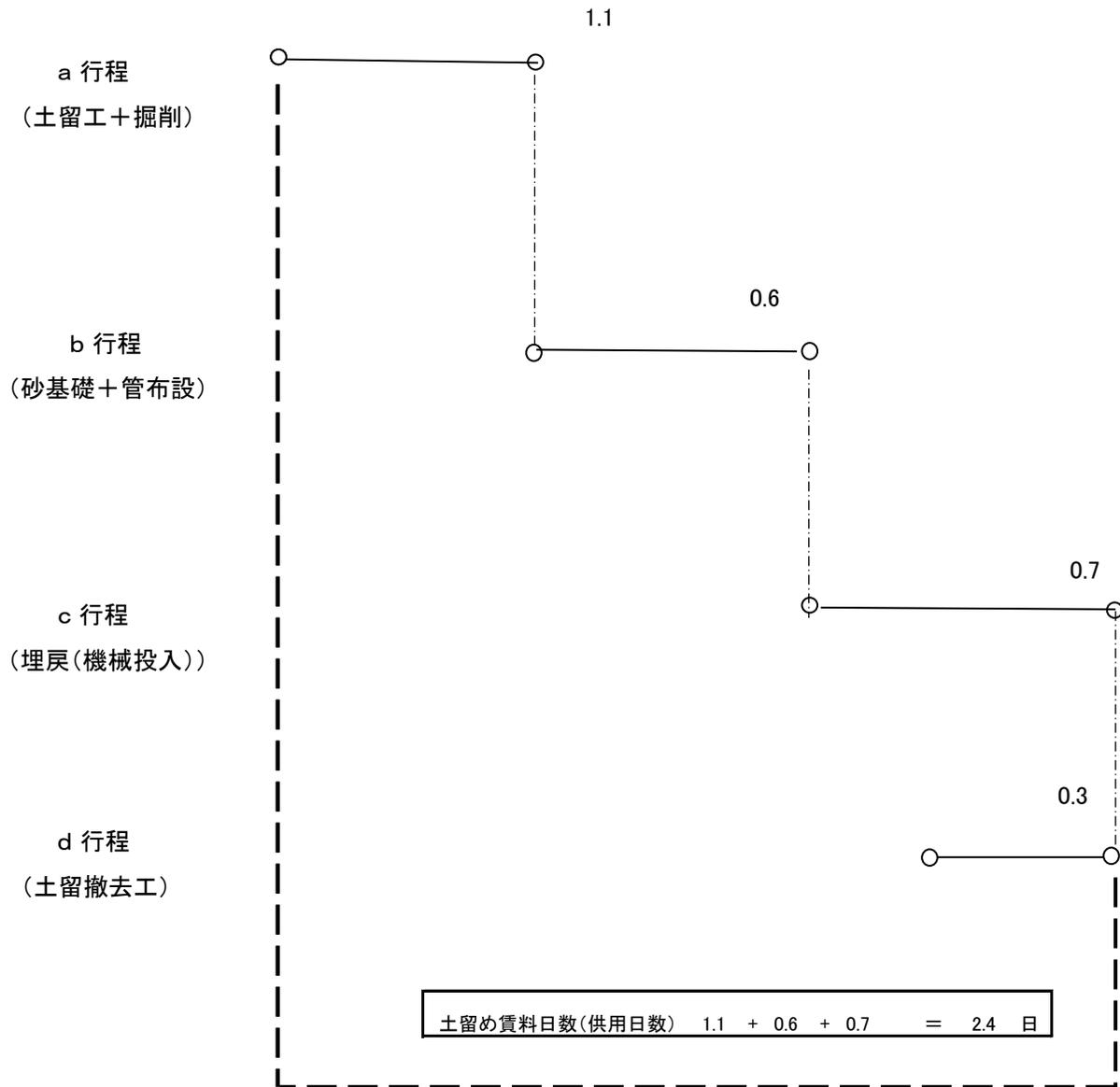
日 数 計 算

種 別	工 種	計 算 式	実日数	供用日数 (×1.7)
a 行程	軽量鋼矢板 (建 込)	100.00 m ÷ 2.0 人 = 50 m/日 12.00 m ÷ 50 m/日 = 0.24 日	0.65	1.1 日
	支保工設置工 (腹 起)	100.00 m ÷ 0.4 人 = 250 m/日 12.00 m ÷ 250 m/日 = 0.05 日		
	支保工設置工 (切 梁)	100.00 m ÷ 0.2 人 = 500 m/日 12.00 m ÷ 500.00 m/日 = 0.02 日		
	掘 削	3.20 m ³ ÷ 1.90 m × 12.00 m = 20.21 m ³ 20.21 m ³ ÷ 59.00 m ³ /日 = 0.34 日		
	土留工+掘削	0.24 日 + 0.05 日 + 0.02 日 + 0.34 日 = 0.65 日		
b 行程	砂基礎工 (機械投入) (転圧作業)	0.70 m ³ ÷ 1.90 m × 12.00 m = 4.42 m ³ 4.42 m ³ ÷ 85.00 m ³ /日 = 0.05 日 0.70 m ³ ÷ 1.90 m × 12.00 m = 4.42 m ³ 4.42 m ³ ÷ (33.0 m ³ /日 × 2 台) = 0.07 日	0.34	0.6 日
	管 布 設 工	10.00 m ÷ 0.23 人 = 44 m/日 12.00 m ÷ 44 m/日 = 0.27 日		
	砂基礎+管布設	0.07 日 + 0.27 日 = 0.34 日		
c 行程	埋 戻 工 (機械投入) (転圧作業)	2.30 m ³ ÷ 1.90 m × 12.00 m = 14.53 m ³ 14.53 m ³ ÷ 85.00 m ³ /日 = 0.17 日 2.30 m ³ ÷ 1.90 m × 12.00 m = 14.53 m ³ 14.53 m ³ ÷ (33.00 m ³ /日 × 1 台) = 0.44 日	0.44	0.7 日
d 行程	軽量鋼矢板 (撤 去)	100.00 m ÷ 0.9 人 = 112 m/日 12.00 m ÷ 112.00 m/日 = 0.11 日	0.17	0.3 日
	支保工撤去工 (腹 起)	100.00 m ÷ 0.3 人 = 334 m/日 12.00 m ÷ 334 m/日 = 0.04 日		
	支保工撤去工 (切 梁)	100.00 m ÷ 0.2 人 = 500 m/日 12.00 m ÷ 500 m/日 = 0.02 日		
	土 留 工	0.11 日 + 0.04 日 + 0.02 日 = 0.17 日		

- ※ a 行程 : 土留工+掘削とする。
 b 行程 : 転圧機械(タンパ)を2台使用する。
 c 行程 : 転圧機械(タンパ)を2台使用する。
 機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。
 d 行程 : b行程が終了して開始とする。

○

工 程 表



軽量鋼矢板土留工 【 L=2.5m 】 数量表

名 称	形状寸法	計 算 式	単位	数量
軽量鋼矢板建込工	L=2.5m	L= 97.50 =	m	97.50
軽量鋼矢板引抜工	L=2.5m	L= 97.50 =	m	97.50
軽量金属支保工 設置工	支保工2段 水圧式	L= 97.50 =	m	97.50
軽量金属支保工 撤去工	支保工2段 水圧式	L= 97.50 =	m	97.50
軽量鋼矢板損料重量 (12.0m当り)	L=2.5m w=59.2kg/m ²	W= 2.50 × 2 × 0.0592 × 12.00	t	3.6
転用回数	L=12.0m	n = 97.50 / 12.0 = 8.10	回	9
供用日数	L=2.5m	9回 × 2.4日 = 21.6	日	22
鋼矢板搬入・搬出		3.6	t	3.6
土留支保工 (軽量金属支保)	腹起し(アルミ製) 幅70~80mm 高115~130mm 長 4000mm	L= 97.50 供用日数 = 22.0 日 22 × 6 本 × 2段 = 264.0	本・日	264.0
水圧サポート	アルミ製	6.0 本 × 2 段 × 22 日	本・日	264.0
水圧手動ポンプ	15~19リットル	供用日 22.0 日	台・日	22.0
水替え実日数			日	22
交通誘導警備員実日数			日	22

軽量鋼矢板土留工 【 L=2.0m 】 数量表

名称	形状寸法	計	算	式	単位	数量					
軽量鋼矢板建込工	L=2.0m	L=	1.90	=	m	1.90					
軽量鋼矢板引抜工	L=2.0m	L=	1.90	=	m	1.90					
軽量金属支保工 設置工	支保工1段 水圧式	L=	1.90	=	m	1.90					
軽量金属支保工 撤去工	支保工1段 水圧式	L=	1.90	=	m	1.90					
軽量鋼矢板損料重量 (30.0m当り)	L=2.0m w=59.2kg/m ²	W=	2.00	×	2	×	0.0592	×	1.90	t	0.4
転用回数	L=12.0m	n=	1.90	/	12.0	=	0.16	回	0.2		
供用日数	L=2.0m	0.2回	×	2.4	=	0.5	日	1			
鋼矢板搬入・搬出			0.4				t	0.4			
土留支保工 (軽量金属支保)	腹起し(アルミ製) 幅70~80mm 高115~130mm 長4000mm	L=	1.90	供用日数 =	0.5	日	≒	1	日		
		1	×	6	本	×	2段	=	12.0	本・日	12.0
水圧サポート	アルミ製	6.0	本	×	2	段	×	1	日	本・日	12
水圧手動ポンプ	15~19リットル	供用日	1.0	日					台・日	1	

PRPφ200管渠工集計表

(単独、夜間)

令和7年度 南国市後免町

工 種		単位	パネル	素掘り	矢板	計	備考	
人孔間距離		m			17.5	17.5		
管布設工		m			16.6	16.6		
管材料	片受直管	本			4	4		
	可とう性継手	個			1	1		
	MR受口継手	個						
	VU変換継手	個						
土留め工	簡易パネル	2.0	m					
		2.5	m					
		3.0	m					
		3.5	m					
		4.0	m					
	軽量鋼矢板	2.0	m					
		2.5	m			17.5	17.5	
		3.0	m					
		3.5	m					
		4.0	m					
	支保工	1段(2.0)	m			17.5	17.5	
		2段(3.0)	m					
		2段(3.5)	m					
3段(4.0)		m						
土工	機械掘削工	人力 2t	m ³					
		0.10BH 2t	m ³					
		0.20BH 2t	m ³					
		0.20BH 4t	m ³			30.9	30.9	
		0.35BH 4t	m ³					
	管基礎工	人力	m ³					
		0.10BH	m ³					
		0.20BH	m ³			6.2	6.2	
		0.35BH	m ³					
	埋戻し工	人力	m ³					
		0.10BH	m ³					
		0.20BH	m ³			22.6	22.6	
		0.35BH	m ³					

PRP φ 200mm 管布設工 (軽量鋼矢板) 線

- 管布設 -

(単独、夜間)
令和7年度 南国市後免町

路 線 名	人 孔 番 号	中 心 間 延 長 L	中間人孔数							人 孔 部 に よ る 減 長	管 布 設 延 長 L1= L-Σ	管 種						副管		土 被 り 下 流 上 流	平 均 土 被 り D	平 均 掘 削 深 H=D+H' H'= 0.306	土 留 工																			
			0 号 M H 0.75	1 号 M H 0.90	2 号 M H 1.20	塩 ビ 製 M H 0.30	精 円 M H 0.90							片 受 直 管 L1/4	可 とう 性 継 手 200	M R 受 口 継 手 200	V U 変 換 継 手 200							内 副 管 150	外 副 管 150	減 長 L'	土 留 延 長 機械	軽量鋼矢板 L2					支保工 L2									
																												L2=L-L'										75×75 ×3.2		100×100 ×3.2		
																												2.0m (1.8)	2.5m (2.3)	3.0m (2.8)	3.5m (3.3)	4.0m (3.8)	(2.0) 1段		(3.0) 2段	(3.5) 2段		(4.0) 3段				
線	No.	m	基	基	基	基	基	基	基	m	m	本	個	個	個	本	個	本	箇所	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m								
3306	3305-1 3306-1	17.5		1.0						0.900	16.6	4.1	4.0	1						1.69 1.49	1.59	1.90		0.20BH 17.5									17.5									
計		17.5									16.6	4.0	1																													
																																			角型鋼管	35.0						

PRP φ 200mm 管布設工 (軽量鋼矢板) 線

- 土工 -

令和6年度 南国市後免町

路線名	人孔番号 起点 終点	中心間延長 L2	掘削幅 B	平均掘削深 H	現況舗装版厚 T	機械掘削工(V)					管体積 外径0.206	舗装復旧残土 A=E*(舗装厚+上層路盤厚)					管基礎工				埋戻工				舗装版切断工					舗装機械種別	仮復旧面積 E= L2*B ㎡			
						L2*B*(H-T)						バックホウ(BH)					砂基礎					再生砕石				L3=L2×2								
						バックホウ(BH)					F= C*L2	市道		国・県道		市道		市道		G=L2*B*(管上+管外径+管下)-F				H=L2*B*H-(F+A+G)				舗装版厚(m)						
						ダンプトラック(DT)						As(1層)		As(2層)		Co		舗装無し		バックホウ(BH)				バックホウ(BH)				0.2~	0.3~			0.35~	0.4~	
人力	0.10	0.20	0.20	0.35	C=	舗装厚+上層路盤厚(m)					バックホウ(BH)				バックホウ(BH)				0.2	0.3	0.35	0.4	掘削											
2t	2t	2t	4t	4t		0.033	0.15	0.35		0.03	0.10	人力	0.10	0.20	0.35	人力	0.10	0.20	0.35	0.2	0.3	0.35	0.4	ダンプ										
線		m	m	m	m	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡								
3306	3305-1 3306-1	17.5	0.95	1.91	0.05				30.9		0.5	2.4						6.2				22.6		35.0				0.20BH 4tDT	16.6					
計		17.5							30.9									6.2				22.6		35.0					16.6					

仮舗装機械種別	BH	人力	0.1	0.2	0.2	0.35
	DT	2t	2t	2t	4t	4t
面積小計(㎡)					16.6	

1号組立マンホール集計表

(単独、夜間)

令和7年度 南国市後免町

種 目	規 格	単 位	数 量	備 考
1号組立マンホール設置工		箇所	1	
平均人孔深		m	1.697	1.697÷1
人孔材料				
底版		個	1	
躯体ブロック	H=600	個		
	H=900	個		
	H=1200	個	1	
	H=1500	個		
	H=1800	個		
直壁ブロック	H=300	個		
	H=600	個		
	H=900	個		
	H=1200	個		
	H=1500	個		
斜壁ブロック	H=300	個		
	H=450	個	1	
	H=600	個		
	H=1800	個		
調整リング	H=50	個		
	H=100	個	1	
	H=150	個		
調整材料	2.5cm	個	1	
	4.5cm	個		
鉄蓋、受枠	T-14	組		
	T-25	組	1	
副管工	外副管150	箇所		
	外副管100	箇所		
	内副管150	箇所		
	内副管100	箇所		
既設人孔接続	φ 200	箇所		
	φ 150	箇所		
削孔	PRP φ 200	箇所	1	
	HP φ 300	箇所		
	PE φ 75	箇所		

舗装工集計表①

(単独、夜間)

令和7年度 南国市後免町

	工種	形状寸法	単位	数量	備考
舗装版撤去工	As舗装版切断(実掘)	t=0.20m迄	m	35	
	Co舗装版切断(実掘)	t=0.20m迄	m		
	As舗装版直接掘削(実掘)	0.35BH 10cm以下	m ²		
	As舗装版直接掘削(実掘)	0.20BH 10cm以下	m ²	16	
	As舗装版直接掘削(実掘)	0.10BH 10cm以下	m ²		
	As舗装版直接掘削(実掘)	人力 10cm以下	m ²		
	Co舗装版直接掘削(実掘)	人力 10cm以下	m ²		
	As殻処分工(DID有)	0.35BH 4tDT	m ³		
	As殻処分工(DID有)	0.20BH 4tDT	m ³		
	As殻処分工(DID有)	0.10BH 2tDT	m ³		
	As殻処分工(DID有)	人力 2tDT	m ³		
	Co殻処分工(DID有)	人力 2tDT	m ³		
上層路盤工	上層路盤工(実掘)	t=0.12m	m ²	16	市道-車道
	上層路盤工(実掘)	t=0.17m	m ²		国・県道-車道
	上層路盤工(実掘)	t=0.10m	m ²		市道-車道
			m ²		
下層路盤工	下層路盤工(実掘)	t=0.15m	m ²		国・県道-車道
仮復旧工	表層工人力施工(実掘)	t=0.03m	m ²	16	市道-車道
	表層工人力施工(実掘)	t=0.03m	m ²		国・県道-車道
			m ²		
			m ²		

舗装工集計表②

(単独、夜間)

令和7年度 南国市後免町

工 種		形状寸法	単位	数 量	備 考	
舗 装 本 復 旧 工	車 道	As舗装版切断	t=0.20m迄	m		
		Co舗装版切断	t=0.20m迄	m		
		As舗装版直接掘削(全体)	0.35BH,10cm以下	m ²		
		As舗装版直接掘削(全体)	0.20BH,10cm以下	m ²	78	
		As舗装版直接掘削(全体)	0.10BH,10cm以下	m ²		
		As舗装版直接掘削(全体)	人力,10cm以下	m ²		
		Co舗装版直接掘削(全体)	0.10BH,10cm以下	m ²		
		As殻処分工(DID有)	0.35BH 4tDT	m ³		
		As殻処分工(DID有)	0.20BH 4tDT	m ³	3	
		As殻処分工(DID有)	0.10BH 2tDT	m ³		
		Co殻処分工(DID有)	0.10BH 2tDT	m ³		
		すき取りおよび処分工	0.10BH 2tDT	m ³		
		不陸整正		m ²	78	

数量計算書 ②

令和7年度 南国市後免町 (単独、夜間)

工種・細目		算式	数量	計上数量	単位
舗装 車 本 復 道 旧 工	As舗装版切断 t=0.20m迄	図より			m
	Co舗装版切断 t=0.20m迄				m
	As舗装版直接掘削(全体) 0.35BH,10cm以下	舗装求積表より			m ²
	As舗装版直接掘削(全体) 0.20BH,10cm以下	舗装求積表より			m ²
	As舗装版直接掘削(全体) 0.10BH,10cm以下	舗装求積表より	78.03	78	
					m ²
	As舗装版直接掘削(全体) 人力,10cm以下				m ²
	Co舗装版直接掘削(全体) 0.10BH,10cm以下				m ²
	As殻処分工(DID有) 0.35BH 4tDT	国・県道-車道 仮復旧 × 0.05 + (国・県道-車道 全体 仮復旧) × 0.05			
					m ³
	As殻処分工(DID有) 0.20BH 4tDT	市道 仮復旧 16.60 × 0.03 + (市道 全体 仮復旧 16.60) × 0.05			m ³
					m ³
	As殻処分工(DID有) 0.10BH 2tDT	市道-As 仮復旧 × 0.03 + (市道 全体 仮復旧As 仮復旧Co) × 0.05	3.90	3	m ³
	Co殻処分工(DID有) 0.10BH 2tDT	市道-Co 全体 仮復旧 () × 0.10			m ³
	すき取りおよび処分工 0.10BH 2tDT	市道-Co 仮復旧 × 0.07			m ³
不陸整正	全体 + 78.03 +	78.03	78	m ²	

		工種・細目	算 式	数量	計上数量	単位	
舗 装 本 復 旧 工	市 道	表層工 t=5cm b<1.4	舗装求積表より			m ²	
		表層工 t=5cm 1.4≤b≤3.0	舗装求積表より	78.03	78		
	(A s)						m ²
		表層工 t=5cm 3.0<b	舗装求積表より				m ²
	国 ・ 県 道	表層工 t=5cm b<1.4	舗装求積表より				m ²
		表層工 t=5cm 1.4≤b≤3.0	舗装求積表より				m ²
		表層工 t=5cm 3.0<b	舗装求積表より				m ²
	復 旧 工	市 道	表層工 t=4cm b<1.4	舗装求積表より			m ²
		(C o)	表層工 t=4cm 1.4≤b≤3.0	舗装求積表より			m ²
			表層工 t=4cm 3.0<b	舗装求積表より			m ²
	上 層 路 盤 工						m ²
							m ²

令和7年度 南国市後免町（单独、夜間）

舗装求積表市道部(As t=5cm)補助:0.1m3BH

番号	底辺	垂線	倍面積
24	7.2	2.4	17.28
25	7.2	3.3	23.76
26	7.8	3.3	25.74
27	7.8	3.6	28.08
28	7.2	3.2	23.04
29	7.2	5.3	38.16
倍面積合計			156.06
舗装面積			78.03

軽量鋼矢板土留工（12m転用）

軽量鋼矢板 I 型 L= 2.5 m （支保段数 2段）

R6.下水道用設計標準歩掛表

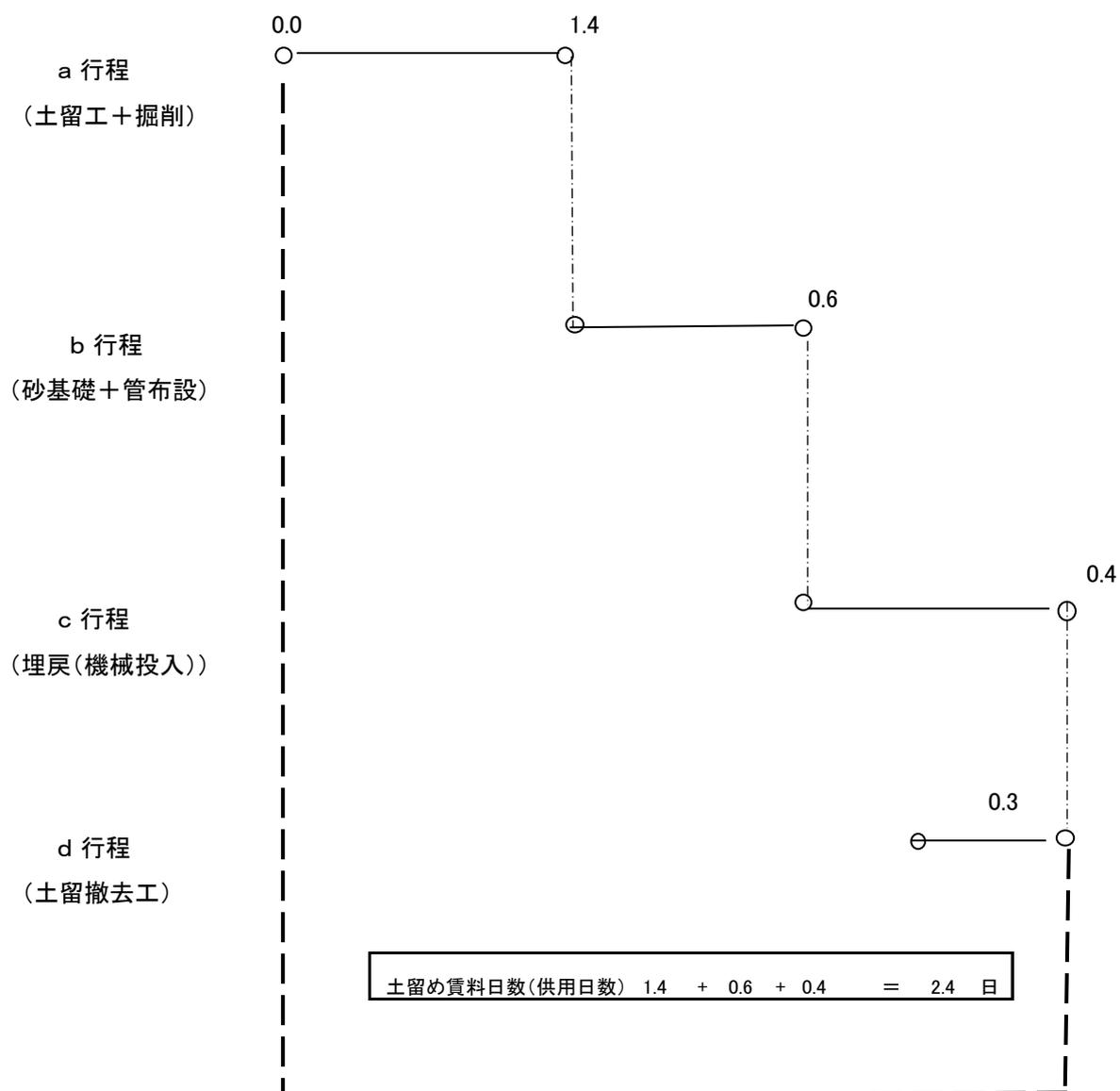
掘削幅	0.95	m
延長	17.50	m
掘削土量	30.90	m ³
砂基礎工(管路埋戻工の歩掛適用)	6.20	m ³
埋戻土量	22.60	m ³
布設管	塩ビ管 φ	200 mm
バックホウ規格	0.28	m ³
雨天休日率	1.70	
転用m数	12.00	m
トラッククレーン規格	4.8~4.9t	吊
バックホウ(0.28m ³)の1日当り掘削土量	D=	59.00 m ³ /日
バックホウ(0.28m ³)の1日当り埋戻土量	D=	85.00 m ³ /日
1日当り埋戻土量(タンパ転圧)	D=	33.00 m ³ /日

日 数 計 算

種 別	工 種	計 算 式	実日数	供用日数 (×1.7)
a 行程	軽量鋼矢板 (建込)	100.00 m ÷ 2.4 人 = 42 m/日 12.00 m ÷ 42 m/日 = 0.29 日	0.80	1.4 日
	支保工設置工 (腹起)	100.00 m ÷ 0.8 人 = 125 m/日 12.00 m ÷ 125 m/日 = 0.1 日		
	支保工設置工 (切梁)	100.00 m ÷ 0.4 人 = 250 m/日 12.00 m ÷ 250 m/日 = 0.05 日		
	掘削	30.90 m ³ ÷ 17.50 m × 12.00 m = 21.19 m ³ 21.19 m ³ ÷ 59.00 m ³ /日 = 0.36 日		
	土留工+掘削	0.29 日 + 0.10 日 + 0.05 日 + 0.36 日 = 0.80 日		
b 行程	砂基礎工 (機械投入) (転圧作業)	6.20 m ³ ÷ 17.50 m × 12.00 m = 4.25 m ³ 4.25 m ³ ÷ 85.00 m ³ /日 = 0.05 日 6.20 m ³ ÷ 17.50 m × 12.00 m = 4.25 m ³ 4.25 m ³ ÷ (33.0 m ³ /日 × 2 台) = 0.06 日	0.33	0.6 日
	管布設工	(特殊作業員 2人配置) = 44 m/日 12.00 m ÷ 44 m/日 = 0.27 日		
	砂基礎+管布設	0.06 日 + 0.27 日 = 0.33 日		
c 行程	埋戻工 (機械投入) (転圧作業)	22.60 m ³ ÷ 17.50 m × 12.00 m = 15.50 m ³ 15.50 m ³ ÷ 85.00 m ³ /日 = 0.18 日 22.60 m ³ ÷ 17.50 m × 12.00 m = 15.50 m ³ 15.50 m ³ ÷ (33.00 m ³ /日 × 2 台) = 0.23 日	0.23	0.4 日
d 行程	軽量鋼矢板 (撤去)	100.00 m ÷ 0.9 人 = 112 m/日 12.00 m ÷ 112.00 m/日 = 0.11 日	0.17	0.3 日
	支保工撤去工 (腹起)	100.00 m ÷ 0.3 人 = 334 m/日 12.00 m ÷ 334 m/日 = 0.04 日		
	支保工撤去工 (切梁)	100.00 m ÷ 0.2 人 = 500 m/日 12.00 m ÷ 500 m/日 = 0.02 日		
	土留工	0.11 日 + 0.04 日 + 0.02 日 = 0.17 日		

- ※ a 行程 : 土留工+掘削とする。
 b 行程 : 転圧機械(タンパ)を2台使用する。
 c 行程 : 転圧機械(タンパ)を2台使用する。
 機械投入と転圧作業の大きいほうを選択する。
 d 行程 : b行程が終了して開始とする。

工 程 表



軽量鋼矢板土留工 【 L=2.5m 】 数量表

名 称	形状寸法	計	算	式	単位	数量										
軽量鋼矢板建込工	L=2.5m	L=	17.50	=	m	17.50										
軽量鋼矢板引抜工	L=2.5m	L=	17.50	=	m	17.50										
軽量金属支保工 設置工	支保工2段 水圧式	L=	17.50	=	m	17.50										
軽量金属支保工 撤去工	支保工2段 水圧式	L=	17.50	=	m	17.50										
軽量鋼矢板損料重量 (12.0m当り)	L=2.5m w=59.2kg/m ²	W=	2.50	×	2	×	0.0592	×	12.00	t	3.6					
転用回数	L=12.0m	n=	17.50	/	12.0	=	1.45	回	2							
供用日数	L=2.5m	2回	×	2.4日	=	4.8	日	5								
鋼矢板搬入・搬出		3.6					t	3.6								
土留支保工 (軽量金属支保)	腹起し(アルミ製) 幅70~80mm 高115~130mm 長 4000mm	L=	17.50	供用日数 =	5.0	日	5	×	6	本	×	2段	=	60.0	本・日	60.0
水圧サポート	アルミ製	6.0	本	×	2	段	×	5	日	本・日	60.0					
水圧手動ポンプ	15~19リットル	供用日	5.0	日	台・日	5.0										
水替え実日数		(1.4+0.6)	×	2	回	=	4	日	4							
交通誘導警備員実日数					日	4										